

【資料】

1. 「HOSEIミュージアム」ロゴについて

ミュージアムロゴとその展開



名称とともにミュージアム活動の象徴となるロゴは、「HOSEIミュージアム」の英文表記「HOSEI UNIVERSITY MUSEUM」をもとに、『H』『U』『MU』を組み合わせた形状をスクエアな「印」とし、シンボリックに表現しました。

2. 「HOSEIミュージアム」の目指す姿

「HOSEIミュージアム」は、以下の「3つの基本方針」「4つの機能」「展示テーマ（予定）」により、全体を構成していく予定です。

「ミュージアム・コア」における展示は、「大学史ゾーン」「テーマ展示ゾーン」の2ゾーンから構成され、大学史ゾーンでは自由民権運動の気運の中で生まれた本学の誕生から第二次世界大戦を経て学風である「自由と進歩」、大学憲章「自由を生き抜く実践知」に至る歴史を、テーマ展示ゾーンでは本学が約140年の歴史の中で蓄積してきた「人・地球社会の持続可能性」に貢献する学術・文化資源をテーマごとに展示します。

人・地球社会の持続可能性のための実験型ミュージアム

ミュージアムの3つの基本方針

<p>基本方針 01</p> <p>法政大学ならではの 自由な研究の創出と 研究成果・資源の公開</p>	<p>基本方針 02</p> <p>自由度の高い 学術研究コラボレーション の促進</p>	<p>基本方針 03</p> <p>学内資源の 管理基盤の強化</p>
---	--	--

ミュージアムの4つの機能

- 01 **ミュージアム・コア**
CORE
本ミュージアムの中核的機能を担う。
- 02 **ミュージアム・サテライト**
SATELLITE
本学の3キャンパス各々の個性を伝え、
ミュージアム・コアとネットワーク化する。
- 03 **インフォメーション・スペース**
INFORMATION
学内各所でミュージアムと学生や本学卒業生との接点をつくる。
- 04 **デジタル・アーカイブ**
DIGITAL ARCHIVE
学内の貴重な資源をデジタルコレクションとして保存し、
資料情報をアーカイブ化するとともに、
WEB上で研究者や学生、一般向けに公開する。

展示テーマの予定

大学史ゾーン	テーマ展示ゾーン
<p>—— 誕<small>た</small>ま<small>ま</small>る 民権の中から 法政大学の誕生と発展</p> <p>—— 「自由と進歩」を求めて 戦禍を越えて</p>	<p>「市民」と「地域」への視点</p> <p>平和の探究</p> <p>働く人々とその社会の探究</p> <p>対話する「伝統」と「現代」</p> <p>持続可能性</p> <p>文化・芸能・スポーツの群像</p> <p>明日へ</p>